

幼小だより

No. 41 平成21年2月号
(H21. 2. 19)
大田市立井田小学校
大田市立井田幼稚園

学校評価(教職員自己評価、児童・保護者・地域アンケート)及び学校関係者評価の結果を踏まえて

井田小学校・幼稚園では、学校教育目標の達成に向け全教職員一丸となって、教育活動に取り組んでいます。具体的には、中期重点目標(4つの柱と3つの土台)を受け、短期重点目標(各年度ごとの重点目標)を決め、その達成のための方策を考え、実施、評価、修正するというPDCAサイクルで、学校運営を行い、教育活動を展開しています。

今回は、平成21年度計画を立てるために、12月から2月までの間に行った平成20年度の学校評価及び学校関係者評価の結果の分析と考察、今後の改善策等についてお知らせします。

【学校関係者評価の中で出た意見(抜粋)】

- 日記を書くことで、少しずつ語彙の獲得や正しい文章作成に生かしていけるのではないかな。
- 本は十分にあるのか。新しい本を入れて整えていく必要がある。
- 人権・同和教育講演会に参加して良かった。子どもとともに大人も学んでいくことが大事だと思う。今後より一層保護者、地域の人に参加できる会を考えてほしい。
- 運動会の応援合戦は子どもたちが考えてやっていることは分かるが、豊作祭などではどうか。
- 挨拶については、子どもたちばかりでなく、地域全体で取り組んでいく必要がある。地域に呼びかけて、親、地域の人から挨拶をする環境をつくっていく必要がある。
- 体力・運動能力は概ね良いということだったが、体格はどうか。肥満傾向の子は減ってきたように思うが・・・
- 学習発表会や運動会など地域と一緒にやる行事の日程調整は大変だと思う。調整の場を年度内にもって、学校から早めに地域に知らせておくとうい。温泉津の他の学校とのバランスもとってほしい。

平成20年度井田小学校 学校評価 自己評価表・学校関係者評価表

4つの柱	具体目標	自己評価	分析・考察	次年度に向けての改善案等
考える子(確かな学力)の育成	①PISA型読解力を高める。	概ね良好	○算数科及び理科をはじめとし各教科でPISA型読解力育成に視点を置いた授業を行った結果、多様な考えを持つことができるようになった。 △語彙がまだ不足しており、感想は、「おもしろかった。」「よかった。」というものが少くない。 △各教科で学習したことを総合的な学習の時間に生かすことはまだできていない。	○語彙を増やす工夫と書く活動をさらに重視していく。 ○今後、総合的な学習の時間のカリキュラムを教科や他の領域と関連を持たせたものにしていく。
	②「読み・書き・計算」の力を高める。	良好	○朝読書は落ち着いた雰囲気の中じっく取り組んでいる。 ○各種調査では、読書の冊数は決して多くはないが、読んだページ数や本に接している頻度は高い。 ○漢字計算道場の取組も、2学期から問題を変更したため意欲的になった。 ○継続して実施している詩の暗唱や音読の効果も現れ、「読み、書き、計算」の力は全体的についてきている。	○今後は、家庭で読書に親しむことを考えていく。 ○古い図書の廃棄と新しい図書の購入を計画的に進めていく。 ○朝のVS活動の時間や活動を見直し、読書タイムの時間や漢字・計算の練習時間を生み出し、定着を図る。 ○辞書の活用をさらに進めていく。 ○ここにサポートや管理職が入っての少人数指導など、どの子にも学力を保障することを今後も継続していく。(ここにサポートは平成21年度も配置を要望していく。)
	③学習意欲を高める。	概ね良好	○極一部の児童を除き、家庭学習の時間は目標に達している。 ○毎時間、児童は一生懸命学習している。これは分かる授業に努めた成果だと考える。	○家庭学習の習慣づけは家庭環境からの影響が大きいため、家庭と連携を図り、個別に指導していく。 ○児童が一生懸命学習に取り組む姿勢がいつまでも続くように、さらに、毎時間ごとねらいを絞った授業をし、児童に見通しを持って学習に取り組ませる。また、知的好奇心をくすぐるような環境づくりもしていく。 ○キャリア教育を推進することで、目標を持たせて、家庭学習の習慣化を図る。
関わり合える子(豊かな心)の育成	①人間関係力を高める。	概ね良好	△人間関係力アップと人間関係力育成のプログラムが具体的な場面でどう関連しているのかが見極めが難しい。	○遊び時間をしっかり確保し、多くの人数で遊ぶ中でトラブル等に対処しながら他者との関わり方を身につけていくものように考える。今後も、全校遊びはもちろんのこと昼休みの確保や群れて遊ぶことや協働を奨励していく。
	②自治能力と自力解決能力を高める。	概ね良好	○豊作祭や運動会の応援など児童が企画運営する活動を組んだ結果、自治能力が少しずつ育ってきた。 ○「お助けポスト」と称する学校生活での自分たちの問題を全体に投げかけて解決していくシステムを作り、学級会や児童総会で話し合っ解決していく経験を積ませ、自力解決能力も少しずつ育ってきた。	○今後は、新学習指導要領に基づき、学級活動や児童活動など特別活動の年間指導計画づきりを行っていく。 ○児童自らが企画運営する活動を今後も計画的に取り入れ、達成感を味わわせるようにする。
	③人権意識を高める。	概ね良好	○2学期途中に、人権・同和教育実践評価をしたところ人権意識を醸成する環境は概ね整っているという結果が出た。 ○教職員の細かな配慮、指導の結果、大きな人権問題は起きていない。	○今後は、取組の様子を家庭や地域にもっと発信し、連携して取り組んでいく。
あいさつができて生活習慣が規範意識を身に付けさせる子(基本)	①大きな声で気持ちの良い挨拶、返事ができるようにする。	今一歩努力を要する	○全体的にはよくあいさつをするようになってきている。 △個人差があり、決まった場面ではかできない児童もいる。	○あいさつをすることが人間としていかに大切であるかという指導を続けることと家庭・地域をあげてのあいさつ運動の展開を考えていく。
	②基本的な生活習慣・行動様式を身につけさせる。	良好	○各種行事の準備や片付け、地域の人の交流場面などで、とても気持ちの良い行動・態度を示している。 ○掃除など働くことを厭わない。この姿勢を今後も大切にしていきたい。 △現時点での問題は食べ物の好き嫌いが多くことなかなか飲み込めない児童がいることである。	○給食を食べるのが遅くなる原因を個別に調べ、対応していく。 ○給食の準備の開始時刻を厳守することで、食べる時間を確保する。
	③ルール遵守の態度を身につけさせ、ルールを守ることに優越感を感じさせる。	概ね良好	○きまりをそんなに破っているという児童は見かけない。	○今後は、道徳の時間を中心に全教育活動を通じて継続して、規範意識を育てる指導をしていく。
たくましくおぼろ強い子(たくましい心と体力)の育成	①体力・運動能力を高める。	良好	○スポーツテストの結果は、個人差はあるが、これまでの体力づくりの取組の成果が出ていて良好である。	○今後も陸上、水泳、体操大会を発表の場とらえた放課後の体力づくりと11月以降の5分間マラソンをはじめとする2校時終了後のパワーアップタイムを継続していく。
	②おぼろ強さを育てる。	概ね良好	○各種大会やコンクールへ多くの児童が参加し、それに向けての練習や準備に継続的にねばり強く取り組んだ。 ○各学級で、努力する活動を決めて取り組ませることもだいたいできた。	○ねばり強さだけでなく、周りに流されたり、低きに合わせたりしない強さを育てる指導をしていく。
	③早寝、早起きができるようにする。	今一歩努力を要する	○早寝を心がけている児童は増えてきている。 △早寝を妨げているものが遅い時間帯のテレビ視聴であることもはっきりしている。	○今後さらに、家族ぐるみ、地域ぐるみの取組に発展させる。

3つの土台	具体目標	自己評価	分析と考察	次年度に向けての改善案等
家庭・地域・関係機関との双方向連携	○家庭・地域との連携・融合	概ね良好	○保護者・地域連絡委員のアンケートからも、適宜出している学級だよりや月1回の幼小大よりで学校や学級の様子や考えは伝わったものと考え。 ○ホームページも2年連続優秀校になるなど努力の成果が出ていると考える。なお、毎月のアクセス数はおよそ500である。 ○公民館との連携がうまくいき、今年度も、総合的な学習の時間をはじめ各教科において、外部講師を招いたり、地域に出かけて発表したりして、学習成果が上がった。 ○学校行事の地域の方や保護者の方の感想や意見を教職員・児童は励みや新たな目標にした。 △教科等の学習場面を見ていただくよう設定している地域授業公開日の来校者は極めて少なく、方法等検討しなければならない。 ○井田小学校幼稚園地域連絡会において、建設的な意見がたくさん出され、地域の協力・応援があることを力強く感じ学校運営ができた。今後も、この会を大切にしていきたい。	○総合的な学習の時間の削減に対応しながらも、積極的に地域に出かけていたり、地域の方と交流したりする活動は継続していく。 ○学校の取組をもっと知っていただくために、地域公開授業日や講演会への案内等を地域の各種団体に直接呼びかけたり、公民館と連携を図ったりしながら参加を促進する。
	○幼小一貫教育の推進	概ね良好	○幼小連携を幼稚園の研究会でも公開し好評を博した。ここ3年間でかなり形ができあがってきた。	○今後は学びの接続を意識した幼稚園独自の活動、小学校独自の学習を考えていく。 ○幼稚園のまつ組とは、三学期の一定期間、給食や体育を一緒にすることで、小学校での雰囲気や味をわたり、入学への抵抗感を取り除いたりする。
	・学校安全	概ね良好	○防犯訓練や避難訓練など学校安全計画に沿って、ほぼ計画どおりにできた。今後も、同じようなことでも繰り返し行っていく。	○日が短くなる秋・冬季の下校時刻に遅れず集団下校できるよう放課後の活動の終了時刻を厳守する。
校内連携	○内にも開かれた学校運営	概ね良好	○職員朝礼での報告・連絡などで各部・各担任の取り組んでいることの共通理解は概ね図ることができ、生徒指導や特別支援に関わる事案に対処することができた。 ○職員会議を月1回にし協議事項を精選し、職員研修の時間を生み出すことができた。 △職員会議の議題に、もっと各担当からの協議事項の提案があったりも良かった。	○年度当初から分かっている議題は、長期休業中及びその前後に行うこととし、もっと月曜日を研修日に回していく。
	○各分掌の情報の共有化	概ね良好	○各分掌からの情報発信は適宜行われた。 △文書の集中管理はできたが、電子媒体のデータの集中管理にはやや不十分などところがある。	○情報管理の上からも、個人パソコンに公文書のデータをおかないことを基本とする本校の文書管理システムを今一度徹底する。
自ら学び続ける集団教職員	○研究への参画と研究の日常化	概ね良好	○研究主題に沿って、日々の授業からPISA型読解力をつける努力をした。また、予定された授業公開はすべてできた。 △最も大切にしなければいけない省察の時間が少なく、主題に迫りきれなかった。 ○その他の校内研修については、職員会議のない月曜日を当てて時間を確保し実施することができた。今後は、研修内容を精選し、全体研修日と個人研修日にする。	○来年度からは、特別活動を校内研究の主要な柱に持ってきて、話し合いと合意形成で問題解決ができる、自立した児童の育成についての研究を進める。 ○分掌担当がより自発的な研修を計画し、それらを効果的に組み合わせることで、自主研修や教材研修の時間を生み出すようにする。
	☆教育課程	概ね良好	○各学校行事について1学期から計画的・継続的に取り組んできたり、計画を2ヶ月近く前から立案し心構えと準備をして取り組んできたりして、各学校行事のねらいを達成することができた。 ○行事に向けての練習が続くときには、週毎に練習計画を立てて取り組むとともに、木曜日の放課後は行事の練習を入れずに学習の個別の指導や教材研究の時間にあてて取り組むこともできた。 ○学習発表会の内容は、本年度のように、学習発表会のための内容ではなく、学習と関連づけることが日々の学習成果の発表の場となる。	○今後は、低学年の児童の負担を考慮し、体操練習の参加については種目や練習終了時刻を他の学年と区別していく。 ○晩秋は日暮れが早いことも考慮し、練習終了時刻と下校時刻を厳守する。 ○来年度に向けて、移行期の年間指導計画の策定していく。 ○地域と合同の行事(地区民体育大会・学習発表会等)は、学校が先行して日程を決め、調整をする。また、学習発表会(産業文化祭)は、温泉津の他の小学校と日が重ならないように調整をする。

平成20年度 井田幼稚園 学校評価 自己評価表

具体目標	分析・考察	次年度に向けての改善案等
意欲的に活動する力	・課題のある活動と子どもの見つけた遊びが時にはつながりのないものになっていた。	・見つけた遊びから、クラス全員への活動へ発展していけるよう方向づけをする。
豊かな心	・植物の栽培を進めることができたが、子どもの意識をもう少し向けさせていく必要があると思う。 ・地域の方や公民館との交流に積極的に参加できるとよい。	・小学校、公民館との交流を中心に交流活動を継続していく。 ・植物の栽培を継続し、子ども達が目を向けていけるように環境を整備していく。
基本的な生活習慣	・だんだんと挨拶が自分からできるようになってきている。 ・早寝早起きについて園からの啓発がもっと必要であると思う。	・約束やルールを確認して身につくようにしていく。(廊下を走らない、手洗いうがい、挨拶をする等) ・好き嫌い、早寝早起きについて園と家庭が連携を取り合って取り組んでいく。
たくましさ	・もう少し散歩に出かけられるとよかった。 ・見つけた遊びの中で、縄跳びのように体を動かす遊びを多く取り入れていくとよいと思う。	・縄跳びや竹馬、鉄棒等に挑戦できるような機会を多く設ける。 ・戸外で体をしっかり動かしたり、最後までやり遂げる経験を重ねたりしていく。

以上のように、学校関係者評価を踏まえて、来年度に向けての準備を始めています。根本には、「教育は、子ども一人一人の自立のために行っている。」という考えがあります。自立というのは、自分一人で何でもするというだけではなく、社会の中で他者と関わり合いながら、自分の役割を果たし、生きていくことです。そのための取組を「人間力を高め続ける 自信と誇りに満ちた子どもの育成」の学校(幼稚園)教育目標のもと推進していきます。今後とも、ご理解・ご協力頂きますようお願いいたします。

2月・3月の主な行事予定

- 2 / 22 (日) 地域授業公開日・教育講演会【講師：笠井耕助氏、演題：「地方紙と私」】
13:30 ~ 14:30 ~ **たくさんの方のご参加をお待ちしています。**
- 3 / 18 (水) 井田幼稚園卒園式 3 / 19 (木) 井田小学校卒業式
- 3 / 24 (火) 修了式、離任式

☆今回は、掲載内容が多く、文字が小さく読みにくくなりましたが、ご了承ください。